

議会と語る会 **WS** を開きました!!

ワークショップ

7/9(火) 13:30~

7/10(水) 18:00~

7/21(日) 10:00~

広聴広報特別委員会(藤倉泰治委員長)は、7月9日、10日、21日の3日間、曜日や時間帯を変えて、テーマ別のワークショップ形式による議会報告会を開きました。

ワークショップとは、少人数のグループに分かれ、対話形式で意見を出し合う手法です。

今回は議員と参加者が各テーブルに分かれ自由で活発な意見交換がなされました。女性や若者の参加が多く、参加者からは「直接自分の意見が言えた」「議員が身近に感じられた」という声などが多く寄せられました。

議会では、出された意見を今後の政策提言に役立てます。また、今後も開催方法などを工夫し、議会の広聴機能の充実に努めます。

平均年齢
51.6才

33人の声

- 総務 / どう思う?市の心とところ具合
- 教育民生 / 何が必要?子育てについて
- 産業建設 / どうする?陸前高田の仕事

ワークショップのような場で市民の意見を吸い上げることは大事。



高橋 未宇 さん
高田町

タクシー券など使い切れていない予算があると聞いたので、そうであれば若者向けの事業を考えるなど、もっと有効活用してほしいです。



鈴木 陽星 さん
高田町、中学3年

託児担当として来ましたが、預かる子どもがいなかったので参加しました。子育て応援ヘルパー派遣事業など子育て支援の制度もあるのでもっと広報してほしいです。



滝田 美代子 さん
高田町

少人数・対話型で満足度UP↑

議員が考えている課題や具体的な政策を聞きたかった。議員は結婚していることが当たり前と考える世代で、我々若者と意識の違いが大きいと感じた。結婚は所得など社会状況の影響もあるので、個人の問題だけではないと思います。



上村 徹雄 さん
高田町

話しやすい雰囲気で言いたい意見を伝えることができました。

中村 航 さん
高田町

参加しました!

意見交換もできて良かった! 😊

違う世代の意見を聞くことができ、学校とは違う勉強になりました。市のお金の使い方を考えるには、将来のまちのあり方を考える必要があると思います。



小林 悠人 さん
高田町、高校3年

自分の仕事(家事代行・ベビーシッター)に関する話ができて良かった。子どもの預け先が少ないと思います。子育てする身としては、子育てサポート事業の周知と、気軽に利用できるようなクーポンなどがあればいいと思います。



佐藤 朔楽 さん
米崎町

市民要望に対し市長からの回答

前号でも特集しました議会報告会において皆さまからいただいたご意見に対し、9月4日、市長から28項目について回答がありましたので、その一部をお知らせいたします。



当局回答の全文がご覧になれます

Q 子どもの居場所、遊び場について

A 地域子育てセンターの土曜開所。児童公園の整備なども検討。



Q 鳥獣対策について

A 目撃情報が増えているイノシシの報奨金を4000円増など、捕獲活動強化。



Q 一本松のライトアップについて

A 各種啓発活動の取り組みや、今後においても各種団体の依頼に対応していく。

